



# 明けまして おめでとうございます

日本共産党は、昨年党創立100周年となりました。新型コロナウイルス感染が収束しない中、区議団は「国民の苦難軽減」という立党の精神にたって、いのちと暮らしを大切にする区政実現に全力をあげています。子ども医療費無料化は4月から高校生まで拡充されます。

今後も区民の皆さんと力を合わせ、学校給食無償化、高齢者の補聴器補助拡充など、区民施策の拡充に力をつくします。

## 22年第3回、第4回定例会

第3回定例会では、決算特別委員会で21年度決算審査が行われ、区議団は決算認定に反対しました。

第4回定例会では、様々な区民からの陳情が審査されました(4面)。また、共産党区議団の提案がきっかけとなり、学校給食費無償化を推進するため政府に対し自治体への支援を要望する意見書が全会一致で可決されました。

## 一步前進しました。

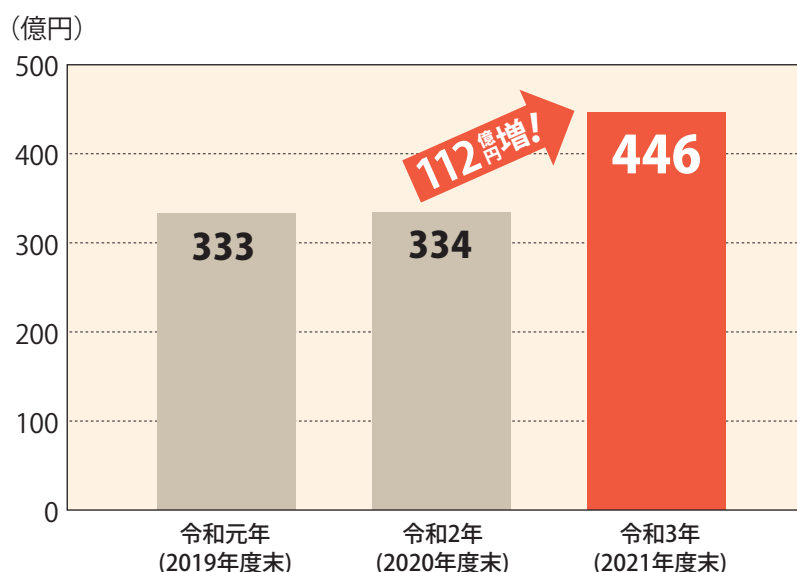
- 物価高騰による学校給食費値上がり(保護者負担)を抑えるための補助増額  
(22年5月と8月に区長申入れで要望したものが、補正予算で実現しました)
- 高齢者の補聴器補助の拡充の検討
- 4月から子ども医療費無料制度の高校生までの拡充にあたり、入院時食事代の助成対象拡大に取り組む  
(区議団が粘り強く求めてきたものです)

## 446億円の貯金(基金残高)は区民のためにつかえ 21年度決算の認定に反対

① コロナ禍と物価高騰のもと区民の命と暮らしを支えるためにやるべきことをやっていない。その結果基金は446億円と過去最高となった。コロナ対策費総額137億円のうち区の一般財源はわずか6億円。中小企業家賃補助、燃料費補助など公衆浴場への抜本的対策、住宅対策として家賃補助の拡充、小中学校の給食費無償化、200万円しかない補聴器購入補助予算の大幅拡大が必要。

② 区民不在、不要不急の無駄な事業を進めている。5か所の市街地再開発等のうち3か所だけで57億円。イケバスには1億4,700万円と多額の税金を投入しているが、不具合により東西ルートは運休中、東ルートは一日10便に減便。改修費など今後もランニングコスト増は避けられない。

## 豊島区の基金残高(貯金)





## 命と暮らしを最優先にする 区政に転換せよ



渡辺くみ子議員が一般質問(9月21日)

### 区長の政治姿勢について

渡辺議員は、3点について質問しました。

- ①「戦争体験者の区長が戦争を起さずにはならないという立場なら、憲法9条を守るのは当然、憲法9条改正の動きに反対すべき」との問いに、区長は、「憲法9条改正は国民的議論が尽くされておらず、現時点では反対表明しない。現憲法を遵守する立場で区政を推進してきた」と答弁しました。
- ②安倍元首相の国葬について、「国葬に反対すべき。職員、区民や団体に弔意の強要はしてはならない」と問うたところ、「反対は表明しない」ものの、「弔意は強制しない」と答弁しました。
- ③「区長は議員時代から現在まで統一教会と関わりがあるか。また区との関係や対応策に関し、区民からの問合せが相次いでいる。区民への説明が必要」との問いに、区長は、「統一教会との関わりは全くない。区との関係で、確認できる範囲で行った調査では旧統一教会からの寄附受領、事業の後援の事実はない。現在、対象を広げ調査中。結果を踏まえ公表を行い、対応について判断する」と答えました。

### 2021年度決算と区民生活について

渡辺議員は、共産党区議団の区民アンケートでは生活が苦しくなった、苦しいまま変わらないが70%である、区民生活は深刻とのべ、「区長は446億円の基金積立(貯金)で過去最高の決算と言うが、区民生活の向上、豊かさが感じられると言えるのか」と質問。区長は「区民の生活は依然として厳しい状況と認識」といい

## 気候危機を打開するために、 区がやるべき課題について



儀武さとる議員が一般質問(9月22日)

### 「2050としまゼロカーボン戦略」について

儀武議員は、まず、岸田首相が原発の新設を含む原発推進方針を表明したことふれ、「原発の新設は認められない。撤回を国に求めよ」と質問。しかし、区長は、「新設については、今後の動向を注視する」と述べるのみでした。

豊島区は「2050としまゼロカーボン戦略」を策定し、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロをめざし、2030年度までの削減目標を2013年度比50%削減まで引き上げることとしています。

まず区民の主体性を発揮できる気候区民会議を早急に設置すべきと求めました。区長は、「早急に気候区民会議を設置することは考えていない」と答弁。

東京には、建物が高度に集積し、これらの建物関連からのCO<sub>2</sub>排出量が7割を占めています。豊島区でも2030年までにカーボンハーフを実現するために、23年度予算はエコ住宅・事業者普及促進事業を大幅に拡充すること、また施策の抜本的強化と具体的な計画を示すよう求めました。区長は、「検証を行った上で、必要な予算を計上する」と答弁しました。

東池袋1丁目市街地再開発事業でCO<sub>2</sub>排出量は、従前の3.4

倍、5659tも増加します。「日本一公園の少ない豊島区で、どのように削減・吸収するのか」と質問。区は「環境政策全般を総動員して取り組んでいく」とあいまいな答弁。「カーボンハーフに逆行し、CO<sub>2</sub>排出量を増加させる再開発事業は見直すべき」と求めましたが、「見直す予定はない」と拒否しました。

### プラスチック分別収集について

プラスチック分別収集モデル事業では、プラスチック資源化の流れとして、区は収集・運搬・選別・保管をすることとなっています。想定費用と職員体制について質問しました。区は「経費は5億～6億円程度の見込み。業務委託を予定しているため、職員体制に大きな影響は生じない」とのことでした。

### 防災・災害時要援護者対策について

現在、個別避難計画の作成に向けた作業を行っています。しかし、区職員が日常業務と並行して行っており、「専任の職員を配置し体制を強化すべき」と求めました。職員増には答えず、「防災分野の専門家に助言・協力を仰ぐことを検討する」との答弁でした。

つつ、「施策が区民生活向上を支える役割を果たしていると考えている」と矛盾した答弁でした。

また、「特別給付金は非課税世帯だけでなく、生活に困窮している区民へも区独自に給付すべき」と質問。区長は「区独自の特別給付金の考えはない」と冷たく拒否しました。

さらに渡辺議員は、コロナ感染などで介護が受けられなくなった高齢者に対し、区独自の看護師や保健師の訪問看護体制が必要と質問しました。区は、入院調整や訪問看護調整、さらには在宅要介護者受入体制整備事業で医療機関・介護施設での受け入れ調整を実施していると答弁しました。

### 補聴器購入費助成額の拡大を

豊島区の補聴器購入費助成の対象は65歳以上、住民税本人非課税で2万円・一回限りです。2021年度の実績はわずか61人、121万円余です。購入費助成額を大幅に引き上げるべきと質しました。「助成金額の拡充について現在検討中」との答弁でした。

### 学校給食費の無償化を

葛飾区は23年4月から学校給食費の完全無償化を表明しました。豊島区でも独自に給食費の全額補助に直ちに取り組むべき、と質問。しかし、区は、「学校給食法などで原則は給食材料費は保護者の負担。区独自の全額補助を直ちに実施する考えはない」と、相変わらず冷たい答弁でした。

## 新型コロナと物価高から 区民の命と暮らし、営業を守るために



清水みちこ議員が一般質問(11月22日)

### 2023年度予算編成について

豊島区が発行した「区制施行90周年記念誌」には、100周年にむけた池袋駅周辺の大型開発が掲載されています。清水議員は「掲載されている市街地再開発事業等に血道を上げては本当に必要な区民需要に応えられない」「今、困っている区民が目の前に大勢いるのに、そこには光を当てず、未来に禍根を残す財政運営は改めるべき」とたたきました。しかし、区長は「記念誌に掲載した事業は、地域の魅力や都市の価値を創造するために不可欠な事業」と答弁。

清水議員は、ファミリー世帯家賃助成制度の要件緩和や、若年層、単身世帯なども使いやすい家賃助成制度の創設を求めました。区長は、「現時点で要件緩和や新たな家賃助成制度の創設は考えていない」と冷たく拒否しました。

さらに、これまで求めてきた重度の障害者施設・グループホーム建設を直ちに取り組みよう求めましたが、区は「引き続き検討を進めていく」と答えるのみ。

### 子育て支援について

まず、23年4月から始まる子ども医療費の高校生までの無償化について、「入院時の食事代についても高校生まで無償にすべき」と求めました。区は、「入院時食事代の助成対象拡大に向けて、取り組んでいきたい」と前向きな答弁でした。

次に、学校給食の無償化について、「これだけ物価高騰が続いているのに、国も都も給食費無償化に消極的。区長会で区長自らが



小林ひろみ議員が一般質問(11月24日)

### 医療と介護について

小林議員は、新宿区では、コロナで自宅療養や濃厚接触者となった高齢者に対応したヘルパーやケアマネジャーに協力金を出している、介護保険なみの負担でヘルパーを利用できる事業もあることを紹介。豊島区もこのような事業を実施すべき、と求めました。しかし、「新宿区のような事業の実施は考えていない」と冷たい答弁でした。

政府は、要介護1・2のヘルパーを介護保険からはずす、ケアプランの有料化など、介護保険の改悪を検討中で、負担は区民と自治体にしわよせされます。国に対し、改悪反対と介護保険の公費負担を増やすよう強く求めるべきと質問しました。区長は、「全国市長会等を通じ、国費負担の引き上げを求める」と答弁しました。

また、小林議員は、コロナ対応のため、保健所の医師、看護師、保健師を増やすべきと求めました。

### 保育施策について

区は、区立東池袋第一保育園を民営にする条例を提案。小林議員は「区立保育園の果たす役割は大きく、これ以上の削減はやめるべき」と質問。区は「民営化で様々な保育ニーズへの対応が実現

リーダーシップを発揮し、無償化実現へ力を尽くすべき。また給食費無償化を率先して表明せよ」と求めました。しかし、区長は「現時点で率先して表明する考えはない」としました。

また、「学校給食の質の向上、食材の安全性を担保するため、農業、遺伝子組み換えの検査などの実施、納入業者への支援もすべき」と求めましたが、教育長は「現時点で区独自に検査を行う考えはない」「給食を止めないことが納入業者の安定的な経営につながる」と答弁しました。

さらに清水議員は、「子育て支援の所得制限は不公平感や分断を生み、子どもたちの未来へも大きな影響を及ぼしかねない。所得制限なく子育て支援策を講じるべき」と質問。しかし、「一律に所得制限なく実施することは考えていない」としました。

最後に清水議員は、「未来ある若者が奨学金という名の何百万円もの借金を背負うのは異常事態である。大学生、専門学生などへの学費補助、給付型奨学金などの支援をすべき」と求めたところ、区は、「国などの支援が充実してきており、現段階で区独自に支援を行う考えはない」と拒否しました。

### 羽田空港新ルートについて

羽田新ルートの騒音や落下物の危険性に多くの区民が苦しんでいます。

国土交通省は「固定化回避の技術的方策」検討会を続けています。清水議員は、「事実上固定化しているようなもの」として新ルートの撤回を国に求めるべきと質問。しかし、区は「現時点で求める考えはない」と拒否しました。

した」「現在、新たな民営化計画はない」と答弁。

23年2月開設する児童相談所では、職員101名のうち46名が会計年度職員(以前の非常勤・臨時職員)と、会計年度職員の割合が高すぎます。正規職員を増やすべきと求めました。区は「正規職員と専門性や経験を有する会計年度任用職員が役割を担い合うことで人員体制を盤石なものとする」というのみでした。

さらに、小林議員は、会計年度任用職員の給与制度の改善と、良い人材を長期的に確保する障害になっている四回更新限度の撤廃を強く求めました。

### まちづくりについて

イケバスには昨年度1億4,700万円余を投入。利用料を100円に下げたが収支は一向に改善されていません。車体に不具合が生じ、10月に東西ルートは運休、東ルートも1日10便。「黒字の運行は無理なのできっぱりやめ、日常生活に必要なコミュニティバスの導入を検討すべき」と求めました。

区長は、相変わらず「イケバスはまちの価値を高める。今後も継続していく」と。また「コミュニティバス導入は、現行のバス路線との競合関係等、課題を解決しながら検討する」との答弁でした。



# 意見が分かれた 主な議案、 請願・陳情について

- 2021年度決算の認定。  
清水議員が認定に反対する討論
- 統一協会と区議会議員との関係を調査し公表を求めるもの。  
儀武議員が採択を求め討論
- 零細企業やフリーランスなど個人事業に負担を負わせるインボイス制度の実施延期を求めるもの。  
採択を求め、渡辺議員が討論
- 区立東池袋第一保育園を民営にするための条例改正。  
渡辺議員が反対討論
- 羽田新ルートに関し教室型説明会等を求めるもの。
- 羽田新ルートの中止を求めるもの。  
儀武議員が不採択に反対し、採択を求める討論
- コミュニティバスの運行を求めるもの。  
継続審査に反対し採択を求め、儀武議員が討論
- 豊島区の学校給食費の無償化を求めるもの。  
不採択に反対し採択を求め、渡辺議員が討論
- 高齢者の補聴器補助制度の対象、金額など拡充を求めるもの。  
継続審査に反対し採択を求め、清水議員が討論
- 聴力検査の回数を増やすことを求めるもの。  
不採択に反対し採択を求め、清水議員が討論

自民党前区議2名による政治資金規正法違反にかかわる陳情は引き続き継続審査とされています。  
9月8日付で2名より「正副幹事長会への参考人として出席を求める依頼については、民間人であり、法的根拠あるいは強制力もないことからお応えいたしかねます」との回答があり、正副幹事長会で報告されました。

## 2023年度 予算要望申し入れ

22年12月2日、区議団は区長に対し、「2023年度豊島区政の取り組むべき課題と予算編成に関する要望書(第一次)」(536項目)と「物価高騰、新型コロナウイルス感染症など緊急・重点対策に関する特別要望書」(44項目)を提出しました。



意見がわかれた主な議案等の本会議採決結果(第3回定例会)

	公明党	会・民主	都民ファーストの会	自民党豊島区議団	日本共産党	無所属の会	無所属元気の会	立憲民主	立憲としま	結果
1 令和3年度(2021年度)決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
2 政治と宗教の関係を通じた関係の適正化するための陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	退席	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択
3 消費税のインボイス制度の再考を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択

○は認定に賛成、×は認定に反対

意見がわかれた主な議案等の本会議採決結果(第4回定例会)

	公明党	会・民主	都民ファーストの会	自民党豊島区議団	日本共産党	無所属の会	無所属元気の会	立憲民主	立憲としま	結果
4 豊島区立保育園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
5 都心低空飛行ルートに関する教室型説明会を国土交通省に要請する陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択
6 羽田空港への新飛行ルートの中止を求め、豊島区議会から意見書提出を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択
7 豊島区にコミュニティバスの導入を求める陳情	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査
8 豊島区の小学生・中学生の給食費無償化を求める陳情他1件	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択
9 豊島区の補聴器購入費の拡充を求める陳情	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に賛成	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査に反対	継続審査
10 聴力検査を区民検診項目に入れる陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択

○は可決に賛成、×は可決に反対



渡辺 くみ子  
区議団団長  
環境・清掃副委員長  
子ども文教委員  
☎3971-1950



清水 みちこ  
区議団副団長  
施設・用地副委員長  
副都心小委員  
区民厚生委員  
☎6912-8679



儀武 さとる  
区議団幹事長  
議会運営副委員長  
都市整備委員  
防災・震災委員  
☎3918-9458



小林 ひろみ  
区議団副幹事長  
副都心副委員長  
総務委員  
行財政委員  
☎3955-8244